

# ISAYAMA's Seminar Report

《ご相談窓口》  
06-6928-5397  
info@achieve-hrd.co.jp



いつもお世話になっておりまして、誠にありがとうございます！  
人財教育プロデューサーの諫山（イサヤマ）敏明です。  
いつもご愛読いただき誠にありがとうございます。第58回は、今年  
独立100周年のフィンランド共和国教育視察レポートをお届け致します。



◆ 今月の社員研修 TOPIX  
5月開催 7時間(9:00~17:00) 研修プログラム:地方自治体 計40名受講  
「フィンランド式人材育成／問題解決力向上研修」



◆フィンランドの人材育成は「考える力」「伝える力」「聴く力」をアクティブラーニングで学ぶ点です。



NPO 法人フィンランド式人材育成研究所でも詳しい情報を公開しておりますのでぜひご覧ください。https://www.npo-finlandshiki.com/

フィンランドで行われている教育を、「フィンランド式教育」と呼んでいます。経済協力開発機構（OECD）が2000年から3年ごとに世界41ヶ国の15歳を対象に学習到達度調査（PISA）を実施していますが、そこでフィンランドは常に上位に入っています。2003年に「科学」「問題解決能力」「数学」「読解力」の4分野においてトップを占めたことで、世界的にも注目されるようになりました。

この背景には、1970年頃から始まったフィンランドでの教育改革にあります。国土も小さく、天然資源もなかったフィンランドは、「人材こそ財産である」と考え、教育への投資を拡大することを決断しました。そして、全国民に公平な教育ができるように、就学前から大学まですべての教育を無償

化します。これらの教育改革を経て、世界的にも高水準の成果を生み出すフィンランド式教育が生み出されました。フィンランドの教育制度は、日本と同じように1~6年生の初級（日本の小学校）と7~9年生の中級（日本の中学校）の9年間が義務教育としてあります。その後は高校、大学と進むのは日本と変わりませんが、すべてが無償で受けられる点が全く異なります。日本のように高校入学のための試験はありません。入学試験がない代わりに、9年の義務教育期間中の成績の平均点で希望の高校の合否が決まります。生徒は5つ希望の高校を選び、成績のよい順に希望の高い高校へと進みます。義務教育期間中の成績はペーパーテストだけでなく、日々の学習の取り組みや成果も評価対象となっています。子供の自主性に任せた教育が行われます。勉強はあくまでも生きていくために必要なものだと理解させ、小学校の間はテストや宿題といったものが課されることはありません。興味をもったことを自主的に学習するように促します。世界的な学力テストで、常にトップクラスにあるのがフィンランド式教育の大きな成果だといえます。そのほか、子供の自主性に任せる教育が行われるため、成長した後も自分自身の創意工夫を大事にします。会社では効率性を大切に、任された仕事を効率的に達成することを考えられるようになります。また、ワークライフバランスを大切に、家族と一緒にいる時間を重視する姿勢も、競争社会とは無縁の環境で暮らしてきたことが土台になっています。



※フィンランド式教育を活用した企業、団体での研修を承っております。ぜひお気軽にお問い合わせください。

**アチーブ人財育成株式会社**  
http://www.achieve-hrd.co.jp  
※ブログ「人事のミカタ」では無料ダウンロードサービス実施中  
http://jinjinomikata.com

■発行元:アチーブ人財育成株式会社  
■発行責任者:代表取締役社長 諫山 敏明(イサヤマトシアキ)  
■住所:〒534-0016 大阪市都島区友淵町 1-6-4-709  
■連絡先:06-6928-5397 ■mail:info@achieve-hrd.co.jp